

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月6日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	香川県	代表者名	浜田恵造
担当者部署	香川県	連絡先電話番号	087-832-3140
担当者役職	主任	担当者氏名	関守侑希
連絡先E-mail			
住所	760-8570 香川県高松市番町四丁目1番10号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	参加者から、「非常にわかりやすくまとめられたセミナー」「変革を目指して周りを巻き込むことが重要であるという話は非常にわかりやすく、自らも取り組めるという気持ちにさせてくれる実に良い講演だった。」等、好意的な意見が多く、行政職員がデジタルというツールを使って地域課題の解決を目指すためのきっかけになる講演だったため。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月1日	11時00分	12時00分		60
派遣形態	講演(オンライン)				

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	142人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	AI、5Gは地域の課題解決等に向けて活用していくべきものであるが、事業を所管している部署においては、それらを学習する時間が持てない状況である。(応募依頼時に記載の内容)	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	県や市町の施策において、AI、5G等のデジタル技術が活用され、地域の課題解決等がなされること。(応募依頼時に記載の内容)	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	デジタルは、課題解決にあたってのツールであり、それをどう使うかは、多様性による「気づき」が重要であること、デジタル人材は一部の専門家だけではなく、すべての人がデジタル人材であること、5GやAIなどの技術は発展途上であり、これから進化を続けていくため、まずはそれらの技術を使う土俵に上がり、利活用に向けて考えていくことで、将来的にはそれらを使用して、生産性向上と価値創出を図ることができる等の内容をご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	参加した行政職員が、デジタルにどう向き合っていけばよいかを考えることができ、今後、行政職員がデジタルというツールを使って地域課題の解決を目指すためのきっかけになった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今回はデジタルの向き合い方として、基礎的な内容のご講演を行っていただいたので、実際にAI、5Gなどの先端技術をどのように利活用していけばよいかを検討していく必要がある。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	添付のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	県や市町の施策において、AI、5G等のデジタル技術が活用され、地域の課題解決等がなされること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

